

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
<b>I. 理念に基づく運営</b>	<b>22</b>
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>	<b>10</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>	<b>17</b>
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>	<b>38</b>
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
<b>V. サービスの成果に関する項目</b>	<b>13</b>
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	ガーデンコート千葉さつきが丘
(ユニット名)	ユニット②
所在地 (県・市町村名)	千葉県千葉市花見川区畑町73
記入者名 (管理者)	加賀美 範郎
記入日	平成 19年 9月 4日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

  


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自分の親を入居させたくなる様なホームにしよう」をスローガンに家庭的な環境のもと日常生活の中で心身の機能訓練等を行う事により、安心と導蔽のある生活を利用者が有する能力に応じて可能な限り自立して営む事が出来る様に支援する。	○ スローガンをホーム内各所に掲示している。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送り時やミーティング等で職員各位確認しています。	○ 職員一人一人がホームを作っていく事を常に啓発しています。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議や毎日発行している「ガーデンコート通信」を配布してご理解とご協力をして頂ける様に日々努力しております。	○ 地域の町内会の清掃等に利用者と共に職員と一緒に参加したいです。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買い物の時など利用者と出かけた時に、ご近所の方や店の方に挨拶して顔見知りになって頂く努力して行きます。	○ いつでも「お気軽に立ち寄って下さい」と一言付け加えた会話が出来る様にして行きます。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	団地に隣接しており行事自体が少ないが今年の盆踊りに参加したり、近隣の保育園、小学校が有るので運動会の「綱引き」に参加したりしています。	○ 小学生達が遊びに来れる様なホームにして行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現状はまだ出来ていない。	○	花見川シニア連合の方々と連絡を取り実行して行きたいと考えております。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	他施設での外部評価の経験者が2名おり、重要性を理解しております。	○	評価を活かし改善に努めて行きたいと考えております。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の日常を見て頂いたり、行事の写真等の確認、頂いた意見を次回会議時に発表して行く。	○	概ね2ヶ月に一回の開催をして行きたいと考えております。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区役所にガーデンコート通信を届けたり等、連絡しています。	○	市内全ての区役所に連携して行きたいと思えます。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	開設10ヶ月の現在まで対象者はありません。	○	管理者が他施設にて成年後見人制度等支援の経験をしているので当ホームでも活用して行きたいと考えております。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	介護雑誌やインターネット等の資料を各職員に配布したり、入浴時など外傷が無いかなど、注意しております。	○	今後もミーティング時等に意思統一して行きます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族及び本人にホームを見学して頂きホームの特色等を説明に時間を掛け、必ず他グループホームも見学して頂く様に話し、質問、不安をクリアして契約に至っています。	○ これからも分かり易く説明に十分時間を掛けて行きたいと考えております。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの相談は随時申し送り時等でも職員に伝わる様にし又、ガーデン日誌に記入し全職員が問題解決に向けて取り組みます。	○ 今後は、千葉市介護相談員の受け入れもして行きたいと考えております。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行の「ガーデンコート通信」にて写真等を一緒に送っています。	○ 今後も継続して行きます。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書の中にも受付窓口の担当者の明記をしており又、家族からは気軽に話して頂ける様にしており、運営に反映しています。	○ モニタリングの強化をこれからも続けて行き、「意見箱」などの設置も考えております。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング等で意見を聞く機会を設けております。	○ 今後も継続して行きます。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	勤務調整は毎月行っています。又、日々のやり取りは、申し送り時に確認役割分担を決めて調整しています。	○ 今後も継続して行きます。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事態が発生した場合、利用者には、分かり易く事情を説明したり、出来る限り発生しない様に、職員個人面接を3ヶ月に一度行っています。	○ 個人面接の実施を徹底して行い離職の発生を最小限になる様に努力して行きたいと考えております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	事業計画に職員のスキルUP研修の項目があり行っています。	○ 研修計画に沿って研修を行っていきます。社外の研修も伝言ボードに資料を掲示しています。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	情報交換等は、行っていますが勉強会等は、出来ていません。	○ 勉強会などを合同で行える様、機会を設け取り組みたいと考えております。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	環境づくりの意見等、職員から聞いております。又、業務中や業務終了後に職員と会話をする事に努めております。	○ 今後も職員とのコミュニケーションは、欠かさない様に行きたいと考えております。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	管理者を中心に助言や指導等行っています。又、ミーティングや申し送り等でも各自が向上心を持って働ける様話し合っています。	○ ミーティングの内容等、向上心を持って業務出来る様な議題を心がけて行きたいと思っております。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	本人から話しを聞き、家族からも先ず始めに、困っている事は何かを聞いています。	○ 今後も継続して行きます。
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	初回面接時に書面で残したり時間を掛けて続いています。	○ 今後も継続して行きます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	問い合わせから本人面談の流れの中でニーズの把握を取っております。	○	今後も継続して行きます。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	場合によっては、入居まで数回訪問して頂いた利用者もおります。又、体験入居から契約を頂いた利用者もおります。	○	今後も利用者本人のペースで行って行きます。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	百人一首等は、利用者から教えて貰ったり、一緒に食事準備したり等をして、共に生活しております。	○	今後も利用者と職員が楽しく生活して行ける様努力してまいります。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来訪時には、職員が自ら家族と会話をし、ケアに関する不安や希望を聞いています。	○	家族の協力なくしては、グループホームは、成り立ちません。今後も家族との接点は、多く取って行きます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	職員は本人と家族の中間に立ち偏った見方をしないで中立の立場で対応する様指導しています。	○	今後も利用者と家族が良い関係を築ける様に努力して行きます。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の元会社の同僚や近所の方が来訪しております。	○	今後も継続して行きます。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆で散歩に行ったり、洗濯物や掃除、食事の支度等、おのおのがやりたい事を共同作業で行っています。	○	これからも利用者一人一人が仲良く生活出来る様支援して行きます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設へ退去された利用者の所へ職員が遊びに行ったり、家族との連絡を取っています。	○	今後も継続して行きます。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的にモニタリングをして本人の意向を第一に介護計画を作成し、ケア側もそれに即して検討しています。	○	今後も継続して行きます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回面談時にモニタリングして書面に作成して職員各位が共有しています。	○	今後も継続して行きます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	申し送り時や、ミーティング等で情報を共有化し、努力しています。	○	今後も継続して行きます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	申し送り等にアイデア等出た時には、管理者から家族に提案したり又、家族から提案があればケアマネを通して各職員に伝達しますので、介護計画に反映しています。	○	今後も継続して行きます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて又、本人に変わりが有った時等、主治医、ケアマネ、家族と相談してプランの見直しを行っています。	○	職員からも常に変化を報告し、即したプラン作りを行います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や日記に記録として残し、日々の申し送り等で情報の共有を行っています。又、ケアマネも申し送り等に参加し、常に計画の見直しを視野に入れております。	○	今後も継続して行きます。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出、外泊も自由であり本人や家族の要望は出来る限り対応しております。	○	今後もニーズに柔軟な対応が出来る様に支援して行きたいと考えています。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の方からの入居希望の家族の紹介があったり、12月には中学生の介護実習も受け入れ予定です。	○	地域に根ざす様もっと、間口を広げて開かれたホームにしたいと考えております。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他、ケアマネージャーや地域包括支援センターの方々への相談等行っています。	○	今後も継続して行きます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議にも参加して頂き、色々と相談にのって頂いております。	○	今後も継続して行きます。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの主治医とは別に本人の今までのかかりつけ医へ通院されています。薬の変更の相談や現在の本人の状態等をこちらから説明したりしております。	○	今後も継続して行きます。



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	家族が中心となり受診されている利用者がございます。直接担当医と電話で現状の相談をしたりして関係を築いております。	○	家族と一緒にこれからも継続して行きます。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者を知っている看護師からは対応方法等を教えて頂いたりして活用しております。	○	今後はもっとホームへ来訪して頂きより良い関係にして頂きたいと考えております。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	見舞いに行った時など医師や看護師、家族と早期退院に向けた話し合いをしている。退院時には、看護サマリーや診療情報提供書を頂き、ホームでのケアに活用している。	○	今後も継続して行きます。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まだその様な利用者は居ません。	○	本人や家族の意志を尊重し、主治医、家族と連携を図りながら取り組みたいと考えております。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	まだその様な利用者は居ません。	○	ターミナル・ケアについて全職員が学び当ホームでも「看取り」のケアを実行して行きたいと考えております。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	まだその様な利用者は居ません。	○	リロケーションダメージの説明、本人のかかわり方等、十分な話し合いをしていきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に尊敬の念を持って、ゆったり優しい口調で話しかけ明るく接している。記録等は一カ所に集めて保管しています。	○ 今後も継続して行きます。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の尊厳を忘れずに、メニュー作りの参加や、外食や買物、散歩等事有るごとに相談し、利用者の希望を引き出す努力をしています。	○ 自己決定を優先したケアに心がけます。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴を嫌う利用者には、無理強いせず翌日に延ばしたり、集団生活上の決まり事は最小限にして、時間がかかっても見守る様に支援している。	○ 今後も継続して行きます。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族が一緒だが、今までのなじみの理容店へ行かれる利用者が居ます。本人や家族の希望が無ければ近所の理容、美容店へ職員と一緒に going しています。男性は、毎日髭を剃り、女性はアクティビティの一環として化粧をしています。	○ 今後も継続して行きます。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に食事を楽しみ、一緒にお皿洗い等の片付けをし皆で取り組んで、家庭的な雰囲気を出しています。	○ 今後も本人の意志でお手伝いをして一人でも多く参加出来る様に支援して行きます。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	今は、お酒、タバコを口にする利用者は居ませんが職員と一緒に喫煙場所で取れる様になっています。おやつに関しては、家族が居室に持ち込み一緒に食べています。	○ 今後も継続して行きます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個人日誌等にチェック表が有り、パターンを把握し失禁があったからすぐにリハパンにせず自立に向けて、トイレ誘導をしています。	○	今後も継続して行きます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴のスケジュールはありますが時間帯、回数、長さ等出来るだけ利用者の希望に沿う様にしています。	○	夜間帯の入浴が難しいが足浴等で対応しています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中、ホールと居室を自由に行き来して、自分の時間帯を持っています。昼夜逆転に気を付け出来るだけ、眠剤は使わない様にしています。	○	これからも本人ペースで支援して行きたいと思います。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの残存能力を活かして食事の準備、清掃、洗濯物たたみ、庭の手入れ等出来るだけ力を発揮できる場面を工夫しております。	○	さらなる発見を心がけ、職員と利用者が楽しめるホームに努力して行きます。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が小額ですが持っている方が居ます。金銭管理の難しい利用者は事務所の金庫や銀行へ預けています。	○	今後も買物等、本人がお金を使う場面を支援して行きたいと考えております。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	朝の申し送り等、外出の予定を立て利用者の希望を確認してから散歩へ出かけています。	○	今後も継続して行きます。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族と一緒に外食される方は何名も居ます。6月には外食会として利用者皆様と割烹料理を食べました。	○	今後も機会を増やして実施して行きます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話番号を職員がかけて居室にて通話されています。手紙は、本人と職員でポストへ投函に行きます。	○	今後も継続して行きます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	大学時代の友人や家族の来訪者が有り、本人の居室で楽しいひとときを過ごされています。	○	今後も、今までの絆を続けられる様に工夫して行きます。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者が身体拘束廃止研修、専門課程研修を終了しており職員にも身体拘束廃止を啓蒙しています。	○	今後も身体拘束ゼロのケアに取り組んで行きます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホールのドアのみオートロックとなっておりますが、利用者がホールの外へ行きたい時は、職員と一緒に外出しております。	○	外の間扉とホールのみオートロックですが出来る限り利用者の自由を尊重して行きたいと思えます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間巡回はもちろんの事、日中も本人の所在や行動に対し、見守りして居室、ホール等安全に気配りしています。	○	今後も継続して行きます。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	編み物や針仕事が好きな利用者は、家族の了解を得て居室でいつでも出来る様にしています。	○	洗剤、薬品の保管は徹底して(保管場所) おります。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	現場マニュアルが有り、対応出来る様日頃より読んで確認しています。又、チェック機能も徹底しています。	○	日頃の見守りを重視する様指示を出し又、利用者の変化に気が付く様に取り組んで生きたいと思えます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルも作成しており、研修計画へ盛り込んでいます。	○	普通救急救命講習は全職員受講しています。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者が参加の避難訓練は行っていないが消防署への協力や避難場所への誘導は確認している。	○	避難訓練の実施(利用者参加)をし又、利用者の行動を把握しておきたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	キーパーソン以外の家族にも現状起きている事や予測される危険なども相談しております。	○	今後もコミュニケーションを取り、情報の共有化をし、対応していきます。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	異変が見られた時にはすぐに主治医や家族に連絡をとり対応しています。	○	これからも日々現場での観察力を持ち、異変の早期発見に努めます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師のアドバイスや利用者一人一人の服薬について、一覧表を作成しており副作用の怖さやその薬の内容を把握しています。	○	服薬については、常に緊張感を持ち、誤薬の無い様努めます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一日、一人一人の水分摂取をチェックしておりレク等で体を動かす必要性を認識しており、出来る限り下剤に頼らないで排便に努めています。	○	今後も継続して行きます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後3回必ず口腔ケアを実施しており入眠時には、入歯を消毒しております。	○	今後も継続して行きます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューを決める時から、栄養バランスを考え、一人一人毎回食事量をチェックし記録に残しています。利用者により、きざみやおかゆ等一人一人の状態に合わせております。	○ 今後も継続して行きます。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	来所された方や、外出よりホームへ入る時等必ず手洗いうがいを行っています。トイレ掃除等も定期的に(1日3回)消毒しておりお風呂の足拭きマットでさえも一人一人個人の物を使用しています。	○ 社内に感染症委員会がありマニュアルの作成や消毒の取り決めなどを行っている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板包丁は、毎日消毒し、台所回りの衛生管理も毎日食品の賞味期限のチェックも必ず行っています。	○ 今後も継続して行きます。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>			
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	職員間で環境整備の担当があり、常に管理され今後は、家庭菜園を予定しております。	○ これからも家族や地域の方まで気軽に来訪できるホームにしていきたいです。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースに利用者の声でたたみとこたつを設けたり、ホーム内は常に季節の飾りがいっぱいにして喜んで頂いております。	○ 今後も継続して行きます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置したり畳のスペースが有ったりして、利用者様の自由が過ごされています。	○ 今後もテラスのベンチ・ソファ・コタツなどで自由に過ごして頂きたいと考えております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、ベッドの人や、畳で布団で休まれる方も居ます。あくまでも本人の好みで植木があったり等、本人の居場所として希望の通りとしています。	○	今後も継続して行きます。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室、共有スペースも24時間換気扇は稼働しておりますが、日中窓の開放に気を配り、ホーム内の湿度、室温には常に気を配っています。	○	今後も継続して行きます。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は、すべてバリアフリーになっており又、手すりも完備されています。ホーム内は出来る限り、本人の有る能力において手すり、杖歩行して頂いています。	○	職員による見守りとホーム内はなるべく車椅子を使用しない様に啓蒙しています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人が出来る事をそれぞれに行っています。掃除の手伝い、食事の準備、片付け等、男女を問わずそれぞれに発揮して下さいます。	○	今後も継続して行きます。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園の計画やベランダでの一緒に洗濯物干しや、テラスのベンチでのコーヒー等、楽しんで頂いています。	○	家庭菜園の早期実現をします。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

スローガンとして「自分の親を入居希望したくなるホームにしよう」その為には、と常に介護する側の見方じゃなく家族の思いや本人がどうしたらあわせに、なるかを考え、利用者や家族が最後に「ここで良かった」と思ってもらえる様に日々の業務に取り組んでいます。職員と家族が街中や道路で気軽に笑い話が出来様な関係を目指し、地域の方々に「認知症の事はガーデンコートに相談すると良いよ」と言われる位地域に根ざし、又、入居の有無ではなく「認知症の相談所」として地域に還元して行きたいと考えております。その為には、利用者一人一人のニーズをしっかりと把握し、ケアにおいても「ガーデンコートさつきが丘なら大丈夫」と、信頼される様に職員一同日々勉強しております。